

科 目 名	精神医学特論		副題		
担 当 者	中川 正俊				
開 講 期	前期	単位数	2 単位	配当年次	1・2 年次
授業の概要	今日の代表的な精神障害 (mental disorders) を取り上げて、その成り立ちのメカニズムや精神医学的診断・治療などについて、生物学的・心理的・社会的な視点に立脚した重層的な知識を涵養する。同時に患者が体験する「病い (illness)」に加え、精神障害 (mental disorders) が患者の生活・人生に及ぼす影響についても全人的な理解を深める。精神障害の客観的側面と主観的側面の双方を理解することを通して、精神障害 (mental disorders) のある人に対する高度な専門性に基づく質の高い支援を実践する力量を養う。加えて精神医学上のトピックスについても講義を行う。授業は講義形式を基本とするが、学問的及び実践的な見地に立脚した活発な討議も重視する。				
授業のねらい ・到達目標	1. 代表的な精神障害 (mental disorders) に関する専門的知識を取得する。 2. 患者が体験する「病い (illness)」と生活・人生への影響について理解を深める。 3. 専門的知識を支援の実践に応用する視点を獲得する。 4. 精神医学および精神障害 (mental disorders) に関する様々な論点につき、自ら問い合わせし論ずることができる。				

#### 授業の方法・授業計画

1	精神医学の基礎知識
2	精神科診断学
3	精神症状学
4	認知症性疾患
5	統合失調症 (概念、診断、疫学、成因仮説、症状)
6	統合失調症 (認知機能障害、特徴的行動特性、経過、予後、治療法)
7	気分障害 (概念、診断、成因仮説、症状)
8	気分障害 (経過、予後、治療法、特別なうつ病)
9	神経症性障害・ストレス関連障害・身体表現性障害
10	パーソナリティ障害、摂食障害
11	小児期の精神障害
12	身体的治療法
13	精神療法
14	環境・社会療法
15	精神医療の現状
期末	

授業に関する連絡	本授業は講義形式で進行するが、授業毎に質問や議論の時間も確保する。
評価方法 及び評価基準	レポート (70%)、質問・発話・討議への参加度 (30%)
事前・事後 学習の内容	[事前学習] 授業テーマにつき、文献などを使用して下調べをするとともに、生活や実践場面を通して生じた疑問点をまとめて授業に臨むこと。 [事後学習] 授業で配布したプリントに基づき知識を整理すること。
履修上の注意	履修者は積極的に議論に参加すること。
テキスト	特になし。授業毎にプリントを配布する。
参考文献	ICD-10精神および行動の障害－臨床記述と診断ガイドライン新訂版 (医学書院) 現代臨床精神医学第12版 (金剛出版)